

中間検査チェックシート C3表(鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目		照 合 内 容		工事監理者	検 査 記 録		
					A：目視検査 B：実測検査 C：監理者報告	結果	修正
1	全体形状 および 部材の配置	ア	建築物の形状		A：B：C	適・否	
		イ	建方の精度		A：B：C	適・否	
		ウ	柱、梁の配置		A：B：C	適・否	
		エ	垂直、水平ブレースの配置		A：B：C	適・否	
		オ	剛性床の配置		A：B：C	適・否	
2	使用材料	ア	鋼材の種類		A：B：C	適・否	
		イ	高力ボルトの規格		A：B：C	適・否	
3	柱	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
		ウ	ベースプレートの寸法、モルタル充填等		A：B：C	適・否	
		エ	アンカーボルトの径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		オ	露出型固定柱脚のチェックシート		A：B：C	適・否	
4	大 梁	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		ウ	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
5	小 梁	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A：B：C	適・否	
		ウ	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
6	柱・梁の仕口	ア	溶接箇所の外観		A：B：C	適・否	
7	床	ア	部材の形状・寸法		A：B：C	適・否	
		イ	梁との接合方法		A：B：C	適・否	
8	ブレース	ア	位置		A：B：C	適・否	
		イ	部材の形状・寸法および位置		A：B：C	適・否	
		ウ	取付け方法		A：B：C	適・否	
9	その他	ア	防錆処理		A：B：C	適・否	
		イ	溶接部分の非破壊試験		A：B：C	適・否	
		ウ	梁貫通孔の補強		A：B：C	適・否	
		エ			A：B：C	適・否	
※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。							
工事監理者への 指摘事項等		中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)	